

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37567	
事業名	ひきこもり対策推進費						
評価担当課	所属名	保)障がい保健 精神保健福祉セ					
	課長名	堀川 幸	担当者名	神山 忠志	電話番号	011-622-5190	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	地域に潜在するひきこもり本人やその家族等が相談に繋がることができるよう、相談体制の拡充を図る。				
		長期	ひきこもり支援を推進するための相談支援体制を整備するとともに、ひきこもり本人の社会参加を促進し、本人やその家族の福祉の増進を図る。				
	取組内容	ひきこもりに特化した専門相談窓口としての機能を有する「ひきこもり地域支援センター」を設置し、ひきこもり本人やその家族等、誰もが安心して相談できる環境を整備するとともに、ひきこもり本人やその家族等が定期的な情報交換及び相談員からの支援を受けられるよう、集団型支援拠点「よりどころ」を定期開催する。					
	実施結果	ひきこもり地域支援センターにおいて件の相談に対応したほか、ひきこもり本人や家族の交流の場として集団型支援拠点「よりどころ」を当事者の会・親の会をそれぞれ月4回実施した。					
事業実施における工夫点	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンラインによる居場所づくりを実施した。						
対象者	市内在住のひきこもりとその家族等			開始	平成27年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	子ども・若者育成支援推進法(平成21年法律第71号) 生活困窮者自立支援法(平成25年法律第105号)						
他都市の状況	全ての都道府県及び政令市において設置済。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	16,354	19,000	17,380	19,000
うち特定財源	8,240	9,500	9,499	9,500
人工	0.4	0.6	0.6	0.6
人件費	2,880	4,320	4,320	4,320
計(事業費+人件費)	19,234	23,320	21,700	23,320
事業費の内訳	令和3年度決算	ひきこもり地域支援センター委託料:14,596千円 ひきこもりに関する集団型支援拠点「よりどころ」委託料:2,452千円 その他:332千円		
	令和4年度予算	ひきこもり地域支援センター委託料:15,436千円 ひきこもりに関する集団型支援拠点「よりどころ」委託料:2,880千円 その他:684千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	ひきこもり地域支援センターにおける相談件数			
活動指標2		指標名				
活動指標1		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	ひきこもり地域支援センターについては、前年度を超える2,858件の相談対応を行った。また、集団型支援拠点「よりどころ」については、当事者の会・家族の会ともに月2回から月4回に回数を増やした。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、一部をオンラインにより開催した。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	ひきこもり地域支援センターについては、3名体制で実施しているが、政令市平均と比較すると少ない。またコロナ禍においても相談件数が増加傾向を示しており、現行体制では不十分であることから、体制充実が必要である。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	ひきこもり地域支援センターについては、ひきこもりに関する高い専門性が求められることから、ひきこもり外来やデイケアを併設しひきこもり相談に関する豊富な経験を持つ職員を有する団体に委託する実施手法は適切である。また、集団型支援拠点「よりどころ」についても、ひきこもり支援のノウハウを持つ団体に委託する実施手法は適切である。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	ひきこもり地域支援センターについては、アウトリーチによる相談件数が増加しているなど、対象者のニーズに寄り添った支援を実施している。また、集団型支援拠点「よりどころ」については、参加人数にばらつきが見られることから、開催日時・回数・場所に関して、多様な対象者に合わせたニーズ把握を進める。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	ひきこもり問題が広く社会に認知されるようになり、相談件数も年々増加している一方、中高年層のひきこもり者など長期的な支援が必要となるケースも多いことから、更なる支援体制の充実が必要不可欠である。					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	集団型支援拠点「よりどころ」について、当事者の会・家族の会ともに月2回から月4回に回数を増やした。			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	ひきこもり対策事業として着実に成果を挙げているものの、潜在する市民ニーズを踏まえると更なる支援体制の整備が必要であることなど、引き続き適切な支援について検討していく。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 集団型支援拠点「よりどころ」のオンライン開催を定例化し、多様なニーズに対応していく。				
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 なし			見直し効果額	0